

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和6年1月31日
室蘭開発建設部

表彰授与式開催！「わが村は美しくー北海道」運動 ～第11回コンクールで優秀賞、奨励賞を受賞した3団体へ～

令和6年1月19日にお知らせしました「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール受賞団体への表彰授与式を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1 優秀賞

団体名 ニサナイ大地の会（むかわ町）

日時 令和6年2月5日（月）13：00～

場所 穂別町民センター コミュニティルームB （むかわ町穂別2番地）

2 奨励賞

団体名 合同会社 自然農業社（壮瞥町）

壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合（壮瞥町）

日時 令和6年2月8日（木）14：30～

場所 壮瞥町役場 大会議室（壮瞥町滝之町287番地7）

※ 急遽変更となることもありますので、取材を希望される方は、事前に下記までお問合せください。

※ 上記受賞団体の活動については、別紙を参照してください。

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていかう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】 北海道開発局 室蘭開発建設部 電話（ダイヤル）0143-25-7049

土地改良情報対策官

前田 和男（内線 327）

土地改良情報対策官付 農業調査専門官 平間 知幸（内線 273）

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



優秀賞

むかわ町



地域のこれからについての話し合いの様子

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

ニサナイ大地の会

【むかわ町】

若い世代が将来も地域を担っていける姿を目指す

【はじまりは？】

農業の担い手対策が必要な地区などをモデル地域に選定して、5、10年後の地域農業について検討を重ねながら農業を核とした支え合う地域づくりを段階的に推進するという、町の「地域づくりモデル事業」に呼応したのがきっかけで発足しました。

はじめに会員みんなで話し合いを行い、地域が目指す未来予想図としてのニサナイビジョンを作成し、話し合いの中で前期（今すぐ）、中期（5年以内）、後期（将来）に分け、いまできることから取組を進めています。

【おもな活動】

ニサナイ地区の環境美化から取組を進めており、周辺清掃や花壇整備をはじめ、隣接する道道沿いの農地周辺の草刈りや清掃など地域の美化を進めています。そのほか、直売所や穂別地域内の博物館やキャンプ場等でニサナイマップを配布することにより地域をPRする取組やエゾフクロウを守るために巣箱を設置する取組も行っています。

また、ニサナイビジョン構想は各層（経営主・女性・青年）で役割分担し話し合っており、地域でとれる農産物を使った加工品開発や、講師を招いての勉強会の開催について検討を行っています。

会員が運営する直売所では、地域で採れた新鮮な野菜や珍しい野菜等の販売を行っています。



ニサナイ会館前
の花壇整備

【ここが自慢】

【自然環境の復活を目指して】

「ニサナイ大地の会」では、ニサナイビジョンを作成し、地区環境美化をはじめとする活動により、今後、他の地域にも波及することを願い活動を展開しています。

景観・自然環境では、ニサナイ地区と隣接する道道沿いの圃場周辺の草刈、清掃の取組を実施しています。

ニサナイ会館（ニサナイ大地の会活動拠点）などの周辺清掃、花壇整備の取組を実施し環境美化に取り組むとともに、自然環境の維持を目指し「エゾフクロウ（森の守り神）が営巣できる自然環境」を後世に繋いで行くため、巣箱を設置する取組を実施しています。



フクロウの木工品と巣箱設置の様子

連絡先

代表者名：中澤 浩さん／設立：平成28年／会員：25名

住所：勇払郡むかわ町穂別451番地3

電話番号：0145-45-3306

FAX：0145-45-3310

E-mail：

URL：



壮瞥町



自然豊かな農村環境で有機農法による農産物を栽培

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

合同会社自然農業社

【壮瞥町】

農福連携による有機農業の実践

【はじめは？】

自然農業社は平成27年に壮瞥町から認定農業者として認定され「自然にならい 活かして育てる 会社でありたい 作物も私たちも」を企業理念に活動しています。

設立時から障がいのある方の自立を支援する就農継続支援A型事業所の指定を受け、障がいの種類を問わず多くの障がいのある方々を雇用していますが、多様な仕事がある農業分野では、それぞれの障がいの特性に合った仕事を見つけやすく、利用者は自分の特性にあった仕事を自分の持ち場としてやりがいを持って働いています。

【おもな活動】

有珠山・洞爺湖の近くの自然豊かな農場（約11ha）において、ズッキーニやタマネギ、ニンニク、大根などの野菜及び豆類を有機農法による生産により農福連携を実践しています。

熟成黒ニンニクや切り干し大根、乾燥ごぼう、乾燥たまねぎの製造販売など6次産業化の取組で冬期間の作業を創設し、農産物加工販売を通年で行い、消費者へ安全・安心なものを届けています。また、切干大根を地元の給食センターで利用してもらうなど、地域に根差した活動となってきています。



有機栽培で生産された農産物を使った加工食品

【ここが自慢】

【美味しく安全・安心な農産物や加工品の生産】

自然農業社では農産物の有機JAS認証を取得しています。農薬、化学肥料、除草剤は一切使用せず、質の高い有機肥料を施し微生物から小動物に至るまで多くの生き物が生息できる環境を作ることにより、自然の生態系を活かした農業を目指して周辺の環境景観にも配慮しています。そうして生産された農産物や加工品は、美味しく安全・安心であると消費者の方々から評価を頂いており、「自然農業社」ブランドとして販売しています。

また、2021年から新たにビーツやさつまいもの生産にも取り組んでおり、今後、生産を拡大していきたいと考えています。



有機農法で栽培している農産物

連絡先

代表者名：小田大介さん／設立：平成26年／会員：30名

住所：有珠郡壮瞥町字立香92番地

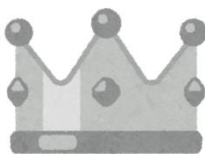
電話番号：

FAX：0142-82-3254

E-mail：

URL：<http://www.sizen-agricompany.com/>





奨励賞

壮瞥町



2月上旬から8月中旬まで出荷可能な「オロフレトマト」

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合

【壮瞥町】

温泉熱活用によるクリーン農業と「オロフレトマト」のブランド化

【はじめは？】

温泉熱を利用した施設野菜の生産を目的に設立し、栽培体系及び栽培管理方法の統一、調整、共選の一元集出荷を図るとともに生鮮野菜の安定供給と省エネルギー化を推進しています。

活火山である有珠山の近くのオロフレ峠の名前からその名がついた「オロフレトマト」は、温泉熱を活用して何か出来ないかという発想のもと、園芸施設内に温泉熱を取り込むことで栽培が始まりました。

【おもな活動】

温泉熱を利用して栽培される「オロフレトマト」は、害虫の少ない冬期間に栽培されるため、通常の栽培と比較して、農薬を減らすことができます。

また、トマトの収穫が終わった後に、緑肥を栽培することで化学肥料の量も減らしており、平成16年には減農薬・減化学肥料栽培の「YES! clean」の認証を受けており、クリーンで安心・安全な栽培に取り組んでいます。



地熱利用しているハウス団地

【ここが自慢】

【再生可能エネルギーによる冬季栽培】

近隣の温泉から約65℃のお湯をハウス内のチューブに引き、チューブ内のお湯からの放熱により、冬季の栽培を可能としています。化石燃料を使わず、温泉熱を利用することによりクリーン農業を通じた農産物のブランド化を図ると同時に、カーボンニュートラルに寄与し環境負荷軽減に取り組んでおります。

また、道内では早い2月上旬からの出荷が可能のため、付加価値向上にもつながっています。



地熱利用しているハウスの内部

連絡先

代表者名：新藤 吉美さん／設立：昭和55年／会員：7名

住所：有珠郡壮瞥町

電話番号：

FAX：

E-mail：

URL：